

「アウトドアのまち三条」 こんなところが アウトドアのまち

- 三条市には国内有数のアウトドアメーカーが集まっています。
- ふるさと納税返礼品「アウトドア部門」ランキングで、30位以内の約半数を三条市産が占めています。
- 下田郷を中心に豊かな自然に恵まれ、アウトドアを満喫できる絶好の環境があります。



駅と下田地域をつなぐ アウトドアライナー

令和5年10月
運行開始

燕三条駅、東三条駅と、スノーピーク フィールドスイートスパをはじめとする下田地域とをつなぐ直通・快速バスです。市外からのお客さまが、車がなくともキャンプに行けるほか、地域の新たな公共交通として日常的に利用いただけます。



市役所に キャンプ風スペース

令和6年2月完成

有志の若手職員が、市役所地下に、「アウトドアのまち」にちなんだスペースを作りました。野外をイメージして人工芝を張り、テントやチェア、カウンターを置くなど、DIYで完成させました。勤務フロアとは違う環境で打ち合わせや休憩に使っています。



打ち合わせなどに活用中

図書館で キャンプ体験

夜のまちやまでキャンプ体験ができるイベント「としょかんキャンプ」をしました。読み聞かせやたき火を楽しみ、閉館後の館内でテントと寝袋を好きな所へ持って行って泊まりました。



館内でテントを設営



たき火で焼きマシュマロ

たき火で ホットサンドづくり

三条で作られた鉈を使い、薪を割って火をおこし、ホットサンド作りを体験するイベント「道具箱の手引き～鉈を知って焚き火でホットサンドづくり～」をまちやまでしました。



鉈で割った薪でたき火



出来たてのホットサンドは格別

わたしたちのまちは アウトドアのまち

特集

「アウトドアのまち三条」宣言から1年

三条市が「アウトドアのまち三条」を宣言してから1年。「アウトドアのまち三条」の、これまでとこれからの取り組みについてお伝えします。

アウトドアのまち三条宣言

三条市は
下田郷を始めとする豊かな自然や国内有数のアウトドアメーカーの集積地という特長を背景に
子どもから大人までこのまちで
アウトドア・アクティビティを楽しむとともに
災害時における防災力の向上を図りながら
将来にわたって自然と共存することを誓い
ここに「アウトドアのまち三条」を宣言します



アウトドアに関する 包括連携協定を締結しました

7月5日、三条市は、一般社団法人新潟県アウトドア協会と包括的な連携協定を結びました。今後、「アウトドアが息づくまち アウトドアが楽しめるまち アウトドアが育つまち」をモットーに連携します。



包括連携協定締結式

協定事項

観光及び産業の振興に関すること
教育、文化及びスポーツの振興に関すること
防災対策に関すること など

「アウトドアのまち三条」の さらなる発展に向けて

三条市の特殊性は、市民の多くがものづくりの関係者であることです。そのため、道具に対する見方は独特で、加工技術や精度までを見ます。厳しいまなざしで鍛えられたアウトドアギアは、日本のみならず、世界に誇る産業として発展してきました。その土壌となる自然に目を向ければ、三条市は、かつては水運として、現在はアウトドアレジャーとして、水とともにあります。産業を支えてきた五十嵐川水系は、現在はカヤックや釣りを楽しめる全国的に有名なスポットでもあります。包括連携協定を結ぶに当たり、今後、三条市の文化・産業・教育・防災の各分野で、「アウトドアのまち三条」のさらなる発展に向けてご一緒させていただけることに感謝します。



一般社団法人新潟県アウトドア協会
代表理事 紫竹 陽介さん